

Course number		G-LAS11 80021 LJ55					
Course title (and course title in English)		数学・数理科学の最前線大学院講義II Graduate Lecture on Forefront of Mathematics and Mathematical Science II			Instructor's name, job title, and department of affiliation		Graduate School of Science Professor, MAEKAWA YASUNORI
Group		Interdisciplinary Graduate Courses		Field(Classification)		Natural Sciences	
Language of instruction		Japanese		Old group		Number of credits 2	
Number of weekly time blocks		1	Class style		Lecture (Face-to-face course)		Year/semesters 2025・Second semester
Days and periods		Thu.5	Target year		Graduate students		Eligible students For science students
(Students of Graduate School of Science cannot take this course as liberal arts and general education course. Please register the course with your department.)							
[Overview and purpose of the course]							
<p>この授業は、主に理学研究科数学教室および数理解析研究所の教員が講師となり、リレー形式で数学・数理科学の様々なテーマについて紹介するオムニバス講義である。各講師が専門分野の話題について入門的な講義を行い、数学・数理科学の最前線で行われている研究を俯瞰する。自然科学をはじめ、情報科学や社会科学など多くの分野に共通する理論的基盤となっている数学・数理科学の様々なテーマに触れることで、諸分野における数学の可能性を知り、数学・数理科学に関する幅広い視野を身に付けることを目的とする。</p>							
[Course objectives]							
<p>(1) 数学・数理科学の最前線で行われている研究の概要を知ることによって現代の数学・数理科学の研究を俯瞰できるようになる。</p> <p>(2) 数学・数理科学の様々なテーマに触れることで、諸分野における数学の可能性を知り、数学・数理科学に関する幅広い視野が身に付く。</p>							
[Course schedule and contents)]							
<p>主に理学研究科数学教室および数理解析研究所の教員が講師となり、代数・幾何・解析・応用数学などにおけるそれぞれの分野の話題についてリレー形式で計15回（十数名の講師による講義14回＋フィードバック1回）の講義を行う。各回の講師や講義のタイトルについては、後日掲示やKULASIS、PandA等で連絡する。</p> <p>本科目は「数学・数理科学イノベーション人材育成強化コース（通称：数学・数理科学コース）」を構成する科目である。</p>							
[Course requirements]							
None							
[Evaluation methods and policy]							
<p>平常点（出席状況）が6割、レポートの評価が4割。</p> <p>レポートは自分が興味をもった授業について内容を整理してまとめたり、或いは授業内容と関係することを自分で調べてまとめる。最低2回のレポート提出が求められる。</p>							
<div style="text-align: right;">Continue to 数学・数理科学の最前線大学院講義II(2)</div>							

数学・数理科学の最前線大学院講義II(2)

[Textbooks]

Not used

[References, etc.]

(References, etc.)

特に無し。

(Related URL)

<https://www.math.kyoto-u.ac.jp/ja/ktgu/innovation>(数学・数理科学イノベーション人材育成強化コースのwebサイト)

[Study outside of class (preparation and review)]

リレー形式で数学・数理科学の様々なテーマについて授業が行われるため、授業後に授業内容の概要を理解できるように、授業内容を復習し、関連する事柄を調べたりすることを推奨する。

[Other information (office hours, etc.)]

本科目は「数学・数理科学イノベーション人材育成強化コース（通称：数学・数理科学コース）」を構成する科目であるが、コース履修に関わらず本科目のみ履修することも可能である。